

看護未来塾第6回勉強会

朝まではやらないけど、生討論会！

今回は趣向を変えて、今考えるべきテーマについて、未来塾の塾員はもとより関心のある皆様による公開討論会を実施します。

日 時 : 2019年 3月 9日 (土) 13~17時
会 場 : 兵庫県立地域ケア開発研究所
サテライト会場 : 日本赤十字看護大学 601講義室
参加費 : 塾員 (3000円) 一般 (5000円) 学生 (2000円)

テーマ1：看護教員と臨床のつながり方改革

現在の看護学教育現場では、教員に教育、研究、社会貢献、教育マネジメントなど多くのことが課せられており、教員は多忙を極めています。

学生が看護に関心を持ち、看護とは何かを考え続けながら、看護を説明できる力や行動する力を身につけるためには、看護教員の実践能力は重要だと考えます。教員が看護の現象の意味を語るができなければ、様々な状況に立ち向かう人を育てることは難しいのではないのでしょうか。しかし、一旦教育現場に身を置くと、教員が自らの実践能力を磨く機会はなくなってしまいがちです。そこで、実際に実践現場で活動している教員の経験を通して、実践現場と教育の場が何のために、どう繋がっていけば良いか、教員の実践活動に意味は何かといったことを議論し、教育と実践の双方にとって有効な繋がり方を提案していきたい。

テーマ2：ここは譲れない!!看護ケアの本質」

～患者体験からみた看護の危機と看護の継続性を阻む電子カルテ問題～

看護師が患者になって、臨床の場で看護が失われていることに愕然とした体験を聞かせていただきます。医療システムの変化によって、看護の本質が損なわれ始めていることに私たちは気づくべきです。その一つとして電子カルテ問題を取り上げます。項目へのチェックだけで記録が済んでしまうこともあり、患者の個別情報は見えにくくなっています。看護に必要な項目までチェックさせられ、看護師は疲弊しています。膨大な量の情報がありながら、患者個々に特徴的なケアや必要な介助の方法が次のシフトに伝わらないといった問題は、どう解決できるのでしょうか。患者体験とつないで議論します。

参加申し込み

下記のURLまたはQRコードからお申し込みください

<https://goo.gl/forms/4w6A7XMa2QF3kXyg1>

